

vol. 21

KOREA INTERNATIONAL SCHOOL

- | 嚴敞俊校長 就任挨拶
- | 卒業生座談会
- | KIS 4つのコース
- | Activity Report
- | KIS News

E K K Y O U J I N

# 越境人

コリア国際学園 広報誌



KU



## 建学の精神

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

코리아国際学園 (KIS) は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

코리아国際学園 (KIS) は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、코리아につながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

### 多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

### 教育理念

### 人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

### 自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

vol. **21**  
INDEX

E  
K  
K  
Y  
O  
U  
J  
I  
N

越境人

コリア国際学園 広報誌

- 2 | 嚴敏俊校長 就任挨拶・自己紹介
- 4 | 卒業生座談会
- KIS 4つのコース
- 8 | 自分だけの学びの建築物を建てるために **国際バカロレア (IB) コース**
- 12 | 殻を破って本当の自分に出会うこと **日本留学コース**
- 14 | 生徒が輝く瞬間 **コリア国際 (KIS) コース**
- 16 | インタビュー **K-POP・エンターテイメントコース**
- 18 | Activity Report  
部活紹介
- 20 | KIS News  
「KIS アポジ会」発足／父親保護者の輪を広げ KIS 教育活動に貢献しよう！  
ユネスコ活動  
第16回 KIS 入学式  
2022 文化祭  
2022 K-POP COVER DANCE FESTIVAL in JAPAN  
トルコ特別授業  
2023 K-POP CHALLENGE OSAKA に参加  
近隣小・中学校との交流  
3年ぶりの新入生歓迎合宿



# わかる授業、 楽しい学校を 実現するために

校長就任挨拶・自己紹介

## 校長 嚴 徹 俊



コリア国際学園中等部高等部（KIS）は、今年、設立15周年を迎えています。KISは15年間、「境界をまたぐ越境人」育成を建学の精神に掲げ、その教育活動を力強く展開してきました。私は2010年2月に副校長として赴任して、校長も務め、2016年8月にKISを辞任して、6年半ぶりに復帰しました嚴徹俊（オム・チャンジュン）と申します。

その間、KISは国際バカロレア（IB）の認定校になり、「K-POP・エンターテイメントコース」を新設し、大きく発展していました。生徒が生き生きと学校生活を送っている姿、とても嬉しく思います。15周年の節目の年に、創立以来の教育方針を再確認するとともに、わかる授業、楽しい学校を目指していきたいと思えます。

### 1 楽しい授業で学力を引き上げる。

楽しい授業のためには、「わからない」を無くしていくことが大事です。「わからない」が多ければ、生徒は学習意欲を失います。欠席や遅刻、居眠りなどの原因にもなります。

「わかる」ための一つに「学習方法論」があります。勉強したいけれど、どうやって勉強すれば





いいかわからない場合があります。運転する前に教習所で運転と簡単な自動車常識、交通規則について学ぶように、基礎的なことから「こうするのですよ」と教えたいです。山についての事前情報もなく、いきなり山に登るより、これから登る山の全貌について概略をわかった上で登ったほうが絶対効果的です。チャットGPTが普及する時代ですから、知識の習得や利用の方法をわかることができます重要になってきています。来年度、「学習方法論」科目の設置（中1、高1）に向け、準備する一年にします。

また、いつでも予習復習ができるように、反転授業実施に向け、基盤を作る一年にしたいと思っています。あらかじめ動画などを配信して、授業ではグループワークを中心に討論や練習問題を解いて、学習の深化をはかるタイプの授業です。グループワークの充実化に向け、2時間連続して同じ科目の授業にする「ブロック授業」も検討します。いずれにせよ、生徒がアクティブになることが前提ですが、KISのアクティブな伝統を生かしていかなければならないと思います。

## 2 楽しい学校を作ります。

コロナの3年間、学生活動が相当萎縮されています。社会も少しずつ正常化していていますので、学校行事の復活をはかっていきます。部活も再び活発化していくでしょう。またIBのCAS活動（創造的、芸術的、社会奉仕活動）とUNESCOのESD Passport（ボランティア活動の記録手帳）をリンクして、社会との接触面を拡大していきます。こうした活動を通じて、KISでたくさんのおい出を作ってほしいと思います。

さらに、2学期からは土曜日午前を利用して、学校ではなかなか学べない特別講義を組みたいと思います。「越境人」「演劇映画など芸術」「社会起業」「卒業生との対話」などのテーマで準備を進めています。進路について多面から考えるきっかけになればと思います。もちろん、土曜日は登校日ではないので、生徒の自主的な選択によりますが、できれば多くの生徒の参加を得るべく、内容の濃いものにしていきたいと思っています。

以上のような課題が絵に描いた餅ではなく、成果を出すためにも、生徒、保護者、教職員の意思疎通はとても重要です。コミュニケーションを密にして、力と知恵を結集し、励まし合いつつ、皆で、より良い、楽しい学校生活を作っていければと願います。みなさま、よろしくお願いいたします。



# 卒業生座談会

2023年7月15日、卒業生4人にオンラインで集まっていただきました。  
(うち、河光希はアメリカ在住で事前にインタビューをしました)

**佐藤じゅに(高2、生徒会長、以下佐藤)**

先輩方、本日は、オンラインですが、座談会にご出席、ありがとうございます。さっそくですが、KIS卒業後の進路を含めて、自己紹介をお願いします。

**檀野由佳(以下檀野)**

2008年、学校創立とともに中等部に入學した檀野ユカと申します。中1から6年間通ったのは私たちの代が初めてです。卒業後は、アメリカシアトルのコミュニケーションに入學し、その後、ウエスタンワシントン大学に編入して、コミュニケーション学を専攻し、英語の国際教員免許(TESOL)も取りました。日本語とコア語を生かして留学生のサポートや寮長をしたりして学費を稼ぎました。大学を卒業し日本に帰ってきて、

アップル社に入社して、アップル京都で働いています。結婚し、2人子どもがいます。今年の4月に、京都でカフェと、英語スクールをオープンしました。

**佐藤**

スーパードーマンですね。

**河光希(ハ・クァンヒ、以下河)**

2009年に中等部に入學して、2015年に高等部を卒業しました。韓国航空大学に入學して、2016年から18年まで陸軍に入隊し、21年からアメリカで飛行訓練中です。

**慎世龍(シン・セリョン、以下慎)**

私は2018年にKISを卒業して、カナダのブリティッシュコロンビア大学に行きました。最初から海外の大学だけ見ていましたが、ダメ元で志願したのに、受かったから行きました。当時の英語科のジョン先生とかの指導がすごく大きかったかと思います。大学

卒業後は、デロイトトーマツコンサルティングという会社でコンサルの仕事をしています。

**野村透生(以下野村)**

セリョンと同期です。本日はよろしくお願いします。2018年に同志社大学に進んで、文系ですけど、20年にパイロットを目指し始めて、来年から日本の航空会社のパイロット訓練生になります。

**佐藤**

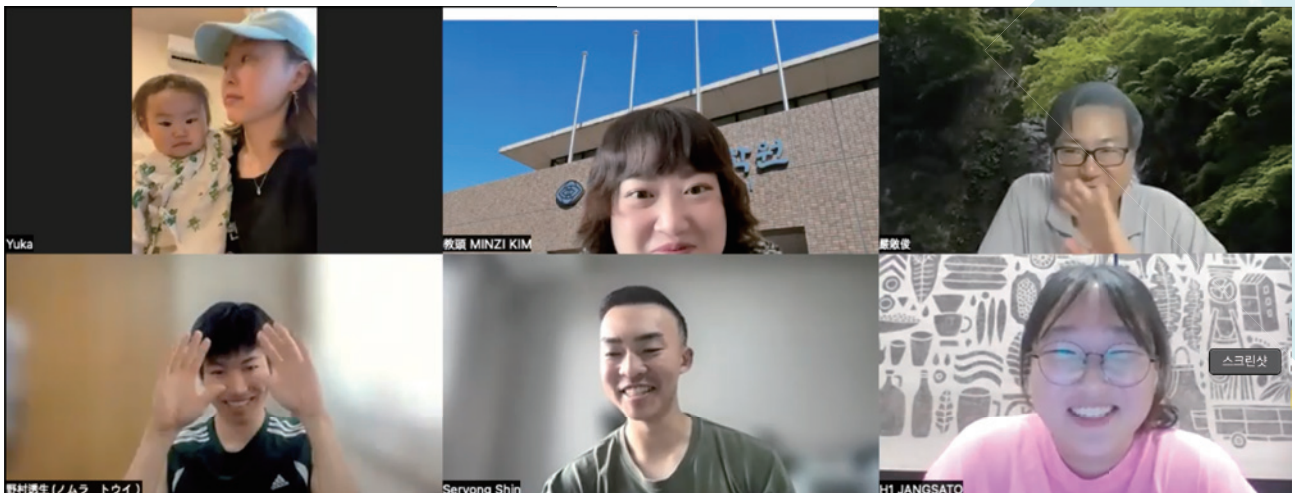
二人も飛行機のパイロットですね。パイロットをしたいと思いついた、何かきっかけとありますか。

**河**

中3の時からパイロットという目標を設定しました。KISで学んだ英語とコア語を生かしたいと思ったことがきっかけです。

**野村**

就職活動を始めて自社養成パイロット





トコースっていうものがあるっていうのを知りました。クアンヒ先輩の例もあって、少し興味を持ちました。空港でパイロットの人に出会って、話しかけて、どうやってなるかっていうのを聞いているうちに、この人たちと働きたいっていう思いが強くなりました。

**佐藤** 皆さん、在学中は優秀な生徒でしたか。

**檀野** いや、自分は優秀じゃなかったと思う、本当に。ただ好きな科目はありました。コア言語とか英語とか音楽とか。高卒認定試験ってあるじゃないですか。私、あれ3回落ちているのですよ。もう夏休み、毎日学校に行って教えていただいて。だから初めから勉強ができたことは一切ないです。

**佐藤** ご自分の進路はどのように思いつき、また励まされ、切り開いていかれたのでしょうか。K I Sを出たことがどのように力になったでしょうか。

**河** K I Sという場が言語の魅力を教え

てくれました。単に試験のためではなく、それを用い、自分の言い方で相手に伝える力を与えてくれた場所です。韓国の大学にアプライする時も先生方にほぼすべてをサポートしていただきました。

**檀野** 私、周りの子見ていたら、日本の大学か韓国の大学かみたいな感じでしたが、他の国っていうのもあると思って。K I S時代、語学は好きで、英語クラブがあって、みんな英語のミュージックビデオを作ったり、映画を作ったりして。K I Sは、思い返すと、成績以外の自分もすごく認めてくれた場所だったので、私の写真展をさせてくれたりして。自分もこうできるのかなという思いは、職員室の先生も友達もみんな後押ししてくれたみたいなき感じですかね。

**慎** 入社面接の際、たとえば、日本にコンビニは何個ありますかと。ロジカルシンキングを聞くのです。日本がどれぐらい広くて、コンビニってどれぐらいの間隔であって、しかも都市部と田舎とか、区分けをしたりして。次はディスカッション能力で

す。単純な知識よりも結果を導き出せるような根拠というか理由付けと、自分が出した結果がもし間違っていればそこは柔軟に対応できるようなチーム力みたいなところも見られているような気がしますね。こういった力はK I Sで早くから磨くことができていたと思います。

**檀野** 語学力のほかは、K I Sの人間関係ですね。本当にしんどい時とかありますが、基本的にK I Sで出会った人、先生とか友達とかにすごく助けられています。そういう人と出会ってよかったと思うことがすごくたくさんあります。

**佐藤** 次の質問ですが、K I S時代の一番の思い出は何ですか。また、それがご自分の人格形成などにどのような影響を与えたかも教えてください。

**河** 一番思い浮かぶことは、部活動です。バスケ部で放課後、先輩後輩と体育館に行き、汗をかきながらしゃいでいた時間が恋しいです。当時は少人数だったので、体育館を借りるところから他のチームとの連絡

まで学生主体でしていたので、自身でする力を学べました。

**檀野** 私の場合は文化祭です。当時、文化祭の後にピロティで焼肉パーティーしましたよ。あと、入学式の次の日に、韓国に行ったことですね。校舎ができてなくても、校舎はまだだったので、鶴橋の雑居ビルで勉強しました。焼肉パーティーもそうですが、本当に先生も生徒も保護者もみんなで作り上げる学校だなっていうのもすごく感じるし、先生とも距離が近かったし、お母さんお父さんとも距離が近かったので、いろんな人と喋って、結構今の自分の人格に影響はあるなと思っています。元々私、別にこんなフレンドリーでみんなと喋るみたいなタイプじゃなかったのですけど。

**慎** 僕は、いろんな研修だったり、友達と遊ぶことだったり、何かいろんな勉強以外のことができたことが良かったかなと思っています。お陰様で、少しは人間に深みが出たかな。頭の良さとか大事ですが、それ以上に、結局、人間じゃないですか。相手に好かれたりすること、



そういう人間的深みっていうのが K I S では養えたかな。

**野村**

共通認識だと思うけど、人と関わるところってところですね。人数が少ないのと、校舎も小さいので、嫌でも人が見える範囲にいて。また個人的には、やはり中3の時に行ったフイジー留学が人格形成面では影響しているのかな。日本語が通じない地域で、積極的にコミュニケーションを取りに行く、誰であってもしっかり話しかけるっていうところが今に繋がっているのかな。

**佐藤**

ありがとうございます。次の質問は、I B コースと K I P O P コースは先輩たちが卒業した後にできました。生徒の関心事も多様化したということが出来ます。そんな中で、先輩たちにとって、K I S で学んだことのうち、先輩たちにぜひ継承して欲しいことは何ですか。

**慎**

関心事が多様化したのは、そうかなと思います。当時も授業は一緒だったのですが、みんな各々の道を行っていたというのがあります。

K I P O P の道に進む子がすでにいたし、I B コースがある前に、アメリカやカナダの大学に行く子もいました。で、自分の関心事は、自分でもっと開拓して欲しい、開拓者のスピリットみたいなのは当初の K I S から継承して欲しいことかなって思いますね。

**佐藤**

自分で開拓していった、記憶に残るものがあれば、1つ紹介してください。

**慎**

僕は、まず開拓をしたって思うところがなかったです。最初は。だから研修とか、特別講義とか、K I S が我々に提供してくれたプログラムには全て参加しました。そのうち、だんだん殻を破って、自分のコンフォートゾーンから始めて。当時、正直、アメリカの大学に行くことはリスクで。もちろん、由佳先輩たちもいて、いいかなとは思っていましたが、自分で、この大学はこういうところが強みというのをきちんと調べて、行ったというの、ある意味、自分で開拓ができたことですね。

**檀野**

いろんなコースができて、選択肢が増えるのはいいことだと思っていまして、あとは、やっぱり、越境人というテーマは、ずっと変わらず、頭の隅にあったらいいなと思ってます。私、越境人とは何かというディスカッションをする時間があつた時に、越境人は、人と人の間も国も心も繋いで生きることだと聞いて、自分の関心事とできることをベースに、自分以外の世界にどれだけ貢献できるかと、考えるのがすごく重要かなって思ってます。この広い世界の中で自分が生きていく、自分をいろんな形で表現しながら人と繋がって欲しいです。そういう人たちに出会えるのが K I S だと思うので。

**野村**

やっぱり K I S の一番の誇りというか、強みになるのは、先輩後輩との繋がりでですね。気軽に話せるって、やっぱり一番強いのかなと。そこはずっと続いて欲しいなと思います。意外と大学に出た時とか、こういう学校やでと言ったら、皆さん驚かれるんですね。先生たちが何かしてくれるとか、先輩たちが何か与えてくれるという場が、それが普

通だと思わないことですね。それくらい、K I S は密な人間関係の学校で、いい面でも悪いところでもそうかなと思いますが、継承して欲しいですね。

**慎**

母校に何年かに1回ぐらい行くのですが、K I P O P と I B ができて、みんな仲いいなって。多様な視点を知ることでもでき、当初の K I S よりももっといい形かなと。継続的に改善をしていくというところはあるなと思いましたね。

**野村**

あと、日本の大学に限った話ですけど、ディスカッションができないですよ。K I S は授業とか通して議論する場があるので、慣れすぎていて、どんどん言ってしまうって、教授からの評価はウナギ登りだけど、浮いてしまうというのが K I S 生のあるあるというか、そんな感じなので、どうしても目立ってしまうんですね。教科書でやる授業が日本の学校では多かつたらしいので、何か考えて発言するというものがないので。そこにめげずに、萎縮せずに、頑張っただけですね。ただ、スタートダッシュで行きすぎると、み

んなが見えなくなるので、徐々にギアを上げるのが、賢いやり方かも知れません。

**佐藤** 逆に、由佳先輩とセリヨン先輩は、アメリカとカナダで留学したので、日本の大学と比べてどんな印象ですか。

**檀野** いや、K I Sでもアメリカでは足りないほうです。もっとディスカッションしていかなければ。もう世界中から学生が来ていて、みんなもっとすごいですよ。もっと発言するし、全く他人がどうかじゃなくて、自分がその限られた時間でどういう経験をしていくかというのに集中している感がありました。私、そういう友達が周囲にたくさんいたので、めちゃくちゃ感化されて、留学行ってよかったなって。

**慎** カナダでも確かに由佳さん、おっしゃる通りで。いろんな意見を柔軟に聞き入れるところもあるし、その一方で、個々人に譲れないものがあるじゃないですか。そこで衝突って絶対に起きて、しかし、それを蒸し

返さないし。オープンマインドってディスカッションの大前提だと思いますよ。ほかに、僕は何かい意味でバカが多いのかなって。講義だけでなく、学生活動もみんな積極的で、思いっきり馬鹿して、でも、勉強はきちんとするみたいなの、オンオフをしっかりしていて、そこがすごいですね。

**佐藤** ありがとうございます。最後の質問になります。後輩たちに助言したいことがあれば、一言よろしくお願いします。

**野村** そうですね。まずは諦めないことですね。夢はいつからでも見つかるので。僕自身もそうですし、大学入った頃なんて、パイロットはエリート中のエリートだと思っていた存在ですし、絶対なれないなと思っていたので。やっぱり何か目標を持って、常に忘れないでいてほしいと思います。

**佐藤** トウイ先輩は在校生との交流キャンプを準備中ですが。

**野村** やはり僕らからしたら、昔のK I Sは最上級で楽しかったというのがあるので、そのいい部分を伝えたいし。自分もクアンヒ先輩にパイロットのことを聞いたりしています、そういった面で、頼れる場所が増えるっていうところですね。そんな感じですね。

**慎** まあ、今のK I Sを楽しんで、友達といっぱい喋って、それが最終的に皆さんの人生の助けになると思うので。いろんな体験をして、自分から行ってくださいというところ。それ

から勉強しましょうってことです。  
**檀野** いろんな経験をしてもらって、本当に自分が何もできないと思わずに、自分は何か社会にとって、周りの家族とかコミュニティにとって、何か貢献できるものがあるっていうのを常に思っておいてほしいと思います。

**佐藤** はい、本日は本当にお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。もっといい学校にしていきたいように在校生たちも頑張りたいと思います。





# International Baccalaureate Course

国際バカロレア (IB) コース

## 自分だけの学びの建築物を建てるために

今回の『越境人』の国際バカロレア (IB) コースのコーナーでは、IB 授業を担当している先生の方々が、授業で特に心がけていることや、IB 授業をしながら感じたことなどについて話し合いました。

IB 授業で特に重点をおくところがありますか。

TO K 担当教員… TO K の授業は、他の授業に比べ、より思考力の向上そのものに集中できる時間です。思考力のなかで、特に論理性を重視していて、主張と根拠が論理的に繋がっているのかを検証しながら議論を進めています。生徒同士で、他人の論旨を突っ込んだり、他人から自分の論旨を突っ込まれたりしながら、論理的な意見を作る方法を身につけることができれば、と思います。

コリア語 B 担当教員… 生徒たちが授業に先立って、かならず授業に関わる内容を調査してくるようにしています。授業は、生徒たちの調査内容の上に成り立つように構成しているので、生徒たちの事前準備が大事です。またテーマを選ぶときには、生徒たちが興味のあるものが反映されるように心がけています。

英語 B 担当教員… IB 教育は「問い」に基づいて学ぶことが大事です。自ら問いを立て、答えを探す過程が学習ですが、そのような学びに慣れている生徒と慣れていない生徒がいます。より生徒たちの自律性を育む教育に取り組みたいと考えています。

歴史担当教員… IB 歴史は、IB グループ 3 の社会科目のなかでも多くの知識を学ぶことが要求される科目です。歴史の見方などに対する討論ができるためには、一定の知識をまず生徒たちが習得しないといけないですが、習得の過程にかなり時間がかかり、議論を取り入れながら生徒たち自身の考えを作り上げる時間を十分に作ることに難しいところでもあります。





# IB COURSE



数学担当教員…現実の問題に活用できる数学問題を織り交ぜたりしながら授業を進めています。最近では地震のエネルギーと実際の地震の大きさの関係を式を使って計算できることについて取り上げました。

ご自身のIB授業で自慢できることを教えてください。

日本語文学担当教員…自由度が高い。生徒たちがやりたい、と言ったものは基本、やるようにしています。他の授業でも生徒たちがやりたいと言ったのはできるだけやるようにしていますが、IB授業は研究範囲とかは自分たちで選んでやってる分、そこに関連づけてやれるものが増えるのはありますね。

歴史担当教員…普通の一般的な歴史講義のように教科書で学んで1年間に古代から現代まで一冊を終わらせませんよ、というような授業よりは、IB授業の方が深く勉強できると思います。世界史トピックの場合は、一つのトピックに45時間とかかけるので、やはり事件や、時代について深く学ぶことになり普通の歴史授業よりは、自分た



ちが考えて、感じて、疑問に思う点を「なんでなんだろう」と思って、それをまた調べることで、テストだけではない学びというのはあると思います。

コリア語B担当教員…普通の言語授業だと、文法があって状況があるという感じですが、IB授業は、状況が先あって文法があります。状況から入るので、もう少し想像力が働きやすいし、言語は手段なんだ、という感覚が育つと思います。

IBならではの学習方法を通して、生徒たちの変化を感じることがありましたか。

歴史担当教員…1年生の3学期にIBコースが始まった時と3年生の外部評価が終わる頃を比べると、やっぱり変化を感じます。リサーチ能力が上手くなりますし、ちゃんとした考え方に基づいて発言できるようになります。IBの生徒は文章をいっぱい書くので、その点で成長を特に感じます。

日本語文学担当教員…最初にレポートを書かせると、形式が整ってなかったり、読みやすいものが書けていなかったのが、最後の方は、スピードも上がるし、書き方とか内容もすごくよくなります。他の授業ではそこまで時間を掛けて文章を何個もたくさん書くというのはいないので、そういった面では文章を書く力とそれに伴って話す力がついたと感じます。

英語B担当教員…ピアレビュー（生徒同士のコメント）が上手くなります。最初は恥ずかしがってできなかったものが、徐々にできるようになります。



歴史担当教員：金明佳



TOK 担当教員：姜豪峰



日本語文学担当教員：前田愛実



数学担当教員：菊池高次郎



コリア語B担当教員：金泯芝



英語B担当教員：サンディッシュ





IB教育では、生徒たち自分自身が学びの主人である、という観念に立っており、生徒たち一人ひとりの各々の学びの主人として「学びの建築物」を築き上げるプロセスが教育であると考えています。したがって、授業は生徒たちの自律性、自発性が発揮できるようにデザインすることが求められています。

このような教育のなかで教員の役割とは、生徒たちが「学びの建築物」を築き上げる時に使う「足場」を提供することです。生徒たちが自分の「学びの建築物」を建てる時に、現在の知識や能力では一人で建て続けることが苦しい場面に会うこともあるでしょう。その時に教員が「足場」を提供することで、生徒たちはその足場を踏みながら、自分だけの力では届かなかったところに手を伸ばし、一歩上に進めることができます。つまり学びにおける教員たちの役割は、あくまでも助け役であり、主役は生徒たち自分自身であるということです。

現在KISの多くの生徒たちが勉強してきた日本や韓国の教育環境では、生徒たちが学びにおける自分自身の主人としての意識を十分に育むチャンスが多くなかった場合もあると思います。また教員も、大学入試などで要求される大量の知識を生徒たちに伝える必要があり、生徒たちの自発的、主体的な学びを十分に活かせられなかった場合もあります。教員

たちもまだまだ試行錯誤しながら、より良い学びとは何かを探していく過程でありますが、学びとは生徒たち自らの力を育てることであるという大原則を考えながら、より良い学びに向かって頑張っていきたいと思っています。



インタビュー：趙世珍



# Study in Japan Course

## 日本留学コース

### 殻を破って本当の自分に出会うこと

2023年度現在、KISには日本語が母語でない留学生が12名います。普通留学の一番つらいところは、言語だと考える人が多いですが、留学のつらさは言語ではなく、慣れない環境で、慣れない言語を話す友達と、慣れないルールに従って生活しなければならないことです。KISの留学生たちも最初は異文化に戸惑い、自分の殻に閉じこもり、また破るという過程を経て、学校と日本に慣れていきます。

今回は12名の留学生の中で、生徒会長を務める「佐藤じゅに」、生徒会高等部役員を務める「高弦永（コヒヨニョン）」、「佐藤るい」を紹介し、彼女たちが学校と生徒たちにとどのような影響を与えているのかについてお話ししたいと思います。

KIS創立以来、生徒会高等部役員が留学生だけで構成されたのは初めてです。今までの留学生たちは控え

目な学校生活を送ることが多く、学校生活より大学進学に重きをおく傾向がありました。しかし、高校生活は人生で一度しかありません。一度きりの高校時代を日本で送り、何かを残してみることが、本当は大学進学よりも真の自分に出会えるきっかけとなるのです。この3人は、留学生という殻を破り、生徒会に挑戦したこと自体が他の留学生たちに自信を与え、生徒全体にも良い影響を与えています。

まずは3人のキャラクターを紹介したいと思います。

佐藤じゅにさんの日本に留学しようと思ったきっかけは、日韓のダブルとしてのアイデンティティの揺れから日本での学校生活を経験してみたという気持ちですが、彼女のこのような気持ちは、誰よりも日本と韓国を理解しようという姿勢に現れます。特に日韓生徒間交流のイベント



## STUDY IN JAPAN COURSE



の時には、両側の意見をうまくまとめ、その上イベントを盛り上げる力があります。

高弦永さんは日本の文化に興味を持ち、日本留学を決めました。口数は多くありませんが、いつも温厚な性格で行動を以て見せてくれるので、友達や後輩たちから頼れる存在です。イベントのときは、うまく進行できるように支えてくれる縁の下の方持ちのような存在です。

最後に佐藤るいさんはマスコットの存在で、とても明るく、何か行動しなければならぬときは決断し、すぐに行動に移せる行動力があります。

この3人が日本に留学してよかったと思う共通点があるのですが、流行や人の目を気にせず自分を表現できることです。この話から、彼女たちの画一的な流行や考え方から脱皮し、本当の自分の姿を手に入れたという気持ちが垣間見えました。

「幸せを感じられる人になりたい。世界一周がしてみたい。いつか自伝を書けるような人生を歩みたい」佐藤じゅにさん。「したいことを思う

存分やっていける未来を実現し、その一つでもあるオリンピックを直接見たい」高弦永さん。「もしかしたら一番難しい平凡で幸せな人生を送りたい」佐藤るいさん。「いつかこんなことがしてみたいんです」と語る彼女たちの目はとてもキラキラと光っていました。

望む未来を掴むには、特別な努力が必要で、忍耐力も必要ですが、「私は避けられないなら、思いっきり楽しむことにしています」と話す佐藤じゅにさん、「とにかく、Do my bestです」と話す佐藤るいさん、「人生の全ては初めてで、最後なんで、うまくなんかなくて大丈夫ですよ」と話す高弦永さんを見てみると、夢を叶えて喜ぶ3人の姿も重なって見えました。



# Korea International School Course

코리아国際 (KIS) コース

生徒が輝く瞬間



人が一番輝く瞬間、それは人が本当の自分の話を語る時です。人の真似ではなく、私が私であるための話、その話を導くために、KISではどのような授業や活動があり、それらを通して生徒たちからどのような姿を求めているのかを少しお話したいと思います。

KISには多くの学校独自の科目があります。中等部では「コリア史」、高等部では「在日コリアン史」、「コリア史」、「多文化共生論」、「時事討論」、「自己探求」、「多文化社会研究」といったKIS独自の科目がそれぞれあたります。これらの授業は、知識を与えるだけの授業ではなくて、生徒自ら社会の構成員としての役割などを考え、社会の中での自分だけの役割や真の姿を探していくきっかけを与えるものです。

また、授業ではありませんが、近



隣学校との交流や、韓国青少年との交流も生徒たちの新たな姿に出会える貴重な場面です。

生徒たちにKISに通って変化したことを聞いてみると、多くが「自分がどんな人なのか真剣に考えるようになった」と言ってくれます。その状態が続くと、アイデンティティに関する「疑問」にも繋がり、社会に関する「疑問」にも繋がっていきます。人間は「疑問」がなければ、「探求」に至ること

## KIS COURSE



ができません。「探求」がなければ「閃き」もないのです。しかし、最後に「疑問」を持つことさえできれば、自然に次の段階へと進むことができます。つまり、最初の段階である「疑問」が持てるようにきっかけを与えることが重要なのです。

ある生徒から、KISに入学前見学に来たとき、休みの時間にふざけているように見えたのに、授業で意見を言うときはスイッチが入

れ替わったかのように真剣になるのに驚いたと聞きました。また、進路や夢は遠い話だと思っていたのに、みんなが自然に進路や夢について語り合っていたのがよかったですとも言っていました。

真剣になる瞬間、自分の夢を堂々と語る瞬間、またそれらを応援する気持ち。これらが合わさった時に生徒たちがキラキラと輝くと信じています。

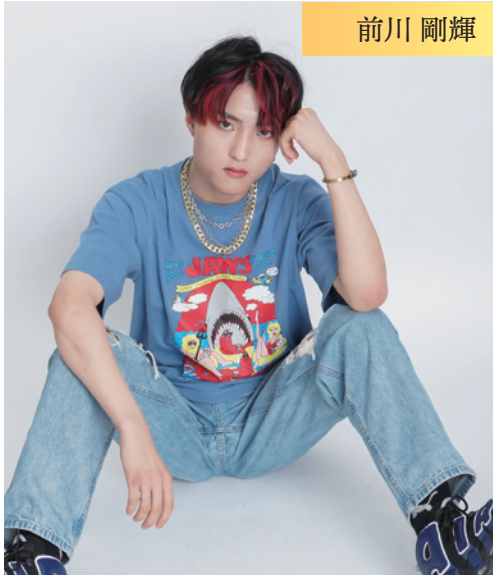
これからも、自然に進路について、当たり前で未来について考えられる雰囲気、夢について堂々と語られる雰囲気を作っていきます。

教頭 金浪芝



# K-POP Entertainment Course

K-POP・エンターテインメントコース



前川 剛輝

**KIS卒業後の活躍は？**

韓国ソウルの西京大学 舞踊芸術学部 実用舞踊専攻でダンスを専門に学んでいます。また、プロダンスチーム starsystem のチームメンバーとして K-POP アイドルやアーティストのバックダンサーの仕事しながら日々練習に励んでいます。先日は CUBE Entertainment 所属の K-POP アイドル PENTAGON の HUI さんと WOOSAEOK さんのユニットのバックダンサーを務め、音楽番組にも出演しました。学生とプロダンサーの両立というハードな、でも充実した生活を送っています。

**KISで学んだことは？**

自分の夢に関連したことをすごく学ばせてもらいました。K-POP・エンターテインメントコースでダンスを学ぶことができたこと、コミュニケーション能力を学ぶことができたことが韓国にきて仕事をする上で役に立っています。コミュニケーション能力は礼儀や韓国文化を理解しながら自分の意見を上手に話すという能力が身についたことです。KISでは語学の授業に関わらずディスカッションをする機会がたくさんあって、普段考えないことをしっかり考える機会になりました。ディスカッションでは留学生とも話すので KIS にきて韓国語能力も飛躍的に伸びました。今は KIS で学んだことを活かしてチームに貢献しながら活動をして、いずれは自分で経営する側に回ったりできるような、しっかり自分に今できることをやっています。

松本 修昂



**KISで学んだことは？**

やっぱり韓国語ですね。日本に居ながら韓国語に触れる機会がまずないので、韓国語の授業があったりだとか、韓国人の友達と一緒に寮生活を送ったりだとか、KIS にきて身をもって韓国語を学びました。

ただ KIS の生徒は人数が少なく、一学年にクラスしかないのはびっくりしました。(笑) でも人数が少ないからこそ、皆のことで知れて、学年問わず色々な友達ができるんです。普段の学校生活の中でも文化の違いに気づけたり、さまざまな背景を持った友達と関わりながら「こんな人もいるんだな」と色々な違いを学ぶことができました。

**事務所に合格した時の感想**

本来なら段階的にオーディションを受けてい

# K-POP COURSE

## KISで学んだことは？

KISに入学しての3年間、いろんなことを学んでいるとは思いますが、僕にとって1番大きな学びになってきているのは、ライバルといえる仲間に出会えたこと、彼らの存在かなと思います。特に、世界大会に出場したDESUPのメンバーは、負けたくないし追い越したいし負けてないし、本気で切磋琢磨できる関係を築くことができました。僕にとって仲間という存在は大きくて、もちろん練習やステージも1人ですることではできません、刺激やモチベーションを与えてくれるのはやっぱり仲間の存在です。楽しいことや大変なこと全部倍になって、みんなで共有しながらいろんなことを乗り越えてきたからこそ、今の僕があるんだと思います。

## ボーイズプラネットでの経験

昨年挑戦したボーイズプラネットへの出演は、本当に不安だらけの経験でした。みんなといるのが当たり前だったところから、僕だけという単身での挑戦に、すごく不安を感じていました。渡韓前、行ってこいと声をかけてくれたみんなの顔を見て、泣きそうになったことを覚えています。だけど、韓国でも新しい仲間ができたことで、不安は少しずつなくなっていました。ボーイズプラネットで出会った仲間は、また違った刺激を僕に与えてくれて、みんな、大きな夢を持ちつつ、現実をちゃんとみて、達成できる目標に向かって努力している姿がとても印象的でした。ボーイズプラネット出演の経験を通して、自

分にとって必要なものとそうじゃないものかわかるようになったというか、物事の優先順位をしっかりと考えられるようになったと思います。でも、1番の変化は、ステージに対する自分の気持ちだと思っています。それまでは、間違えないようにしないととか、きちんとこなさないとという気持ちが大きかったんですが、今は、ステージに立つことで自分を見てくれる人たち、応援してくれる人たちに、感謝の気持ちを伝えたいという想いが明確になりました。

## 今後について

KISで出会えた仲間や学び、ボーイズプラネットでの経験を大切にしながら、これから僕という人間をもっと磨いていけたらなと思っています。「はる」という存在が、無条件に、相手にとってかけがえのないものになれるよう、そんな人間に成長できたら嬉しいです。



加藤 緩琉

くものだと思っていたのですが、オーディションを受けて2週間とかで返事が来たんです。すごく短い期間だったので「ええ？僕が練習生？」と嬉しい反面すごく驚きました。あの時の衝撃は今でも忘れられないです。毎日アイドルという夢に向かって練習してきていたのですが、一カ月くらいは何も実感が湧かずに、本当にうまくできるのか、今の自分のスキルでついていけるのか、などの不安もありました。でも今は練習生に選んでいただけで、本当に「スタートラインに立ったんだな」と実感しています。日々の練習に加えて、自主練習を重ねながら今ほとても楽しい気持ちです。

## 今後の目標

韓国語で話したり何か伝えようとしたときに、発音が上手くできなかつたりジェスチャーが必要だったりとか、まだまだ言葉の壁を感じているので、勉強にも力を入れながら、もっと語学力を上げていきたいです。また自分の一番の目標であるK-POPアイドルという夢に向かって、韓国でもより意識を高めながら日々の練習に励んでいきます。



## バンド部

私たちバンド部、「HAPPY-GO-LUCKY」は好きな音楽を自分で演奏する活動をします。「HAPPY-GO-LUCKY」は楽天的という意味で心配なく楽しくやっぺいこうという意味の名前です。去年から新しくでき、今まで3回の公演を行いました。2022年の文化祭では初めて賞を取りました。今年も文化祭の公演で新しい曲をみんなに聞かせるために頑張っています。バンド部に入る前には楽器を触った事もないメンバーが大半で、初期はすごく大変でしたが、諦めずに頑張って続け、公演することができましたと思います。これからも頑張る続け、後輩たちにいっぱい入ってもらって「HAPPY-GO-LUCKY」が今のメンバー全員が卒業しても生き残れるようにするのが今年の目標です。まだ足りないところが多いですが、名前のようにみんなで楽しくやっぺいいきたいです。

バンド部部長 高等部3年生 イウォンジ



# Activity Report

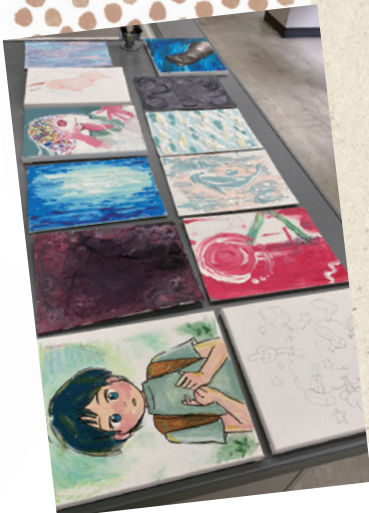
## 美術部

私達の所属する美術部では、紙やキャンバスにアクリルや水彩等で描く事を中心に、スライム作りやフルイドアート等にも挑戦し、多様な制作に着手しています。最終的な目標は、文化祭での展示であったり、コンテストへの出展です。

クラブのメンバーは、初心者から経験者まで幅広いです。個々の感性をしっかりと持って、キャンバスと熱心に向き合う人達が集まっています。メンバーは絵を描く事の楽しさを共有し、どこか落ち着いた雰囲気の美術部を形作っており、活動中の美術部は居心地がよく、私は大好きです。

これから部長として励むべき事は、この親しみやすく、制作に真剣に取り組める美術部を維持していく事だと思っています。美術部は、初心者の方でも、苦手な方でも、やる気があれば、どんな方でも歓迎しています。

美術部部長 高等部1年 森川海





## テコンドー部

テコンドー部は毎週月曜日に愛センターの体育館で金漢老（キムハンノ）師範から指導をして頂いています。現在のテコンドー部での目標は、今年の文化祭と来年の体育祭での公演をすることです。今のところメンバーは女子6人、男子2人です。経験者は少なく、初めての人が多いのでレベルはビギナーですが、一生懸命取り組んでいます。ウォームアップはストレッチや連続馬跳び、ウォームアップをしてからはテコンドーをするときの構え、護身術、最後はクールダウンをするなどで、覚えやすい動作が多いです。1学期に活動した時間は少なかったですが、みんなで張り切って参加することができたと思います。2学期には1学期以上に活発に活動をしようと思います。

テコンドー部部长 高等部1年 ウィルソンあかり



## バドミントン部

こんにちは！バドミントン部リーダーの阿部なゆたです。今から僕はバドミントンいやバドミントン部の魅力について語っていきます。このバドミントン部は他の部活とは一味違います。なぜか、それは上級者の方は上級者の方達と打ち合いが可能であり、その一方初心者の方は基礎からわかりやすく教えてもらえます。リーダーである僕もまだ初心者ですが、気づけなかったところに気づいたり、楽しい環境でかなり実力が身についた気がします。ラケットで羽を打つときは、爽快感抜群！みんなでバドミントン部に入部してラケットを振りまくり、良い汗をかきましょう！みなさん待ってまーす♪

バドミントン部部长 高等部1年 阿部なゆた



## フットサルクラブ

フットサルクラブは、毎週2回（火、木）楽しく部活動を行っています。私たちのクラブは、熱心なプレイヤーが集まり、友情と競争心を育む環境があります。全てのレベルのプレイヤーに対応した様々なトレーニングプログラムを提供しており、初心者から上級者まで、個々のスキルやフットサルに対する情熱を伸ばすための指導を行っています。単にフットサルを楽しむだけでなく、友情やチームワークを大切にしています。定期的な練習や試合だけでなく、社交的な面やチームビルディング活動なども行っており、メンバー同士の絆を深める機会でもあります。もしフットサルをしたい、新しい友達を作りたい、競技力を高めたいと思っているなら、ぜひ当クラブに参加してみてください。フットサルへの情熱を共有し、仲間となってお一緒にフットサルを楽しみましょう。

フットサルクラブ部部长 高等部3年 金廷佑





## 「KISアボジ会」発足／父親保護者の輪を広げKIS教育活動に貢献しよう! #01

2023年度のスタートに合わせて、在校生卒業生の父親ネットワーク構築を目的に「KISアボジ会(父親会)」が発足しました。

4月22日の第1回懇親会には、全国各地から在校生父親13名、卒業生父親5名、関係者3名、計21名が大阪に集合しました。

発起人代表の李昌勲氏(卒業生父親)が、「アボジ会」の趣旨として在校生と卒業生の父親らの情報共有と親睦を緊密に図り、学校と連携して子供たちの教育的環境整備を目指して取り組み、年2回のフラットな懇親会を予定することを説明しました。

金淳次理事長は、保護者会活動で献身的役割を果たして頂いているオモニ(母親)たちとの両輪で、是非ともアボジたちが力を結集してKISを支えて頂きたいと大きな期待を表明しました。

6月10日、第1回チャリティゴルフコンペ(兵庫県愛宕原ゴルフ倶楽部)には在校生卒業生父親と招待者8名が参加しました。

10月28日開催の文化祭には、生徒らとの一体感を目指して「アボジ会ブース」を初めて出店することとしその準備を進めています。この日夕方には第2回懇親会開催を、コリア国際学園の保護者であるが韓国に一度も行ったことがない父親が多いことから11月11～13日「KISアボジ会韓国探訪」を予定しています。

今後、徐々に盛り上がって行くことが期待されます。



## ユネスコ活動

#02

本校は、UNESCOに認可されたユネスコスクールであり、ユネスコ委員会を設置し、所属生徒を中心に、持続可能な社会を実現するための活動を行っています。地域清掃、学内で出たゴミのリサイクル、ペットボトルキャップを回収しフクチンに変える活動への参加など、身近な所から世界へ貢献することを目標に、生徒の自主的な企画、運営により幅広く活動しています。今年がんばろう!つばさネットワーク主催「気仙沼復興支援ボランティア」に生徒4人が参加しました。また、株式会社ファーストリテイリング主催の、子ども服を集め、難民キャンプに送る「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加する予定です。





## 2022文化祭

#03

昨年度10月22日にKIS文化祭を行いました。  
テーマは新時代!ワンピースにあやかり生徒会はワンピースのパロディ動画を披露したり、各学年の生徒たちは大迫力の舞台を披露したりと会場は大爆笑&熱気の渦に...午前の部は学校校内でブース体験、午後の部は移動して舞台公演、そして保護者会のお昼ご飯と盛りだくさんでとても楽しい一日でした。



## 第16回KIS入学式

#04

2023年4月8日、第16回入学式を開催しました。  
今年は内部進学生を含む計40名が入学いたしました。  
来賓には、茨木市議会議員のいなばみちのぶ様にお越し頂き、生徒たちへ熱いメッセージをお送りくださいました。  
また生徒会長の歓迎スピーチをはじめ、K-POP・エンターテイメントコースの公演など、新入生も盛り上がり、KISならではの楽しく賑やかな入学式となりました。



## 2022 K-POP COVER DANCE FESTIVAL in JAPAN

#05

2022年7月23日に開催された「2022 K-POP COVER DANCE FESTIVAL in Japan」に男子チームDESUPと女子チームMiliMiliの2チームが出場しました。  
なんとDESUPが優勝し、日本一になり、10月にソウルでの世界大会に出場しました。  
MiliMiliは今回は賞を逃してしまいましたが、女子チームも全員息ぴったりの素晴らしいパフォーマンスでした。





## 2023 K-POP CHALLENGE OSAKAに参加

#06

4月23日、K-POP・エンターテインメントコース生が大阪韓国文化院主催「2023 K-POP CHALLENGE OSAKA」に参加しました。

KISから参加したのはBLACK Cats、Bubbles、KIS\_Numberの3チーム。流した汗の量があっただけ、圧倒的な舞台パフォーマンスを披露し、満場の拍手を受けました。生徒会も広報ブースを開き、学園パンフレットを配り、KISの良さについて熱弁しました。



## トルコ特別授業

#07

5月17日7限に今年度初めての特別授業を実施しました。ゲストスピーカーとして、箕面市立国際交流センター次長である岩城あすかさんとその旦那様でありトルコの方であるセイハン・デニズさんをお迎えし、トルコの概況、政治や民族、宗教の状況やトルコ・シリア大地震について、スライドを用いてお話して頂きました。KIS生にとって今まで身近ではなかったトルコのことについて、少しでも理解を深められるいい機会となりました。



## 3年ぶりの新入生歓迎合宿

#08

「びわ湖青少年の家」で3年ぶりに新入生歓迎合宿を実施しました。大型貸切バス3台(協賛して頂きました)で学校から琵琶湖へ出発しました。宿では、チームに分かれ、飯盒炊飯やカレーを作ったり、ゲーム大会や学年で過ごす時間などを持ち、新入生と在校生の親睦を深めました。15期生徒会(高2徐輔謙会長)の年間活動総括も実施し、15期生徒会役員にとっては、この合宿が最後の行事となりました。15期生徒会の皆さん、お疲れさまでした。



## 近隣小・中学校との交流

#09

6月1日に豊川中学校2年生の皆さんが、6月27日には茨木市立郡山小学校5年生の皆さんが学校に来てくれ、本校生徒と交流を行いました。

グループに分かれ、ハングルの歴史や原理について学び、双六に似た韓国の伝統遊び「コンリ」をして、KISの生徒たちと一緒に楽しく遊びました。

K-POPダンス体験教室ではK-POP・エンターテインメントコースの生徒が講師となり、BTSの「Anpanman」を踊りました。短い時間でしたが、お互いに仲を深め合うとても貴重な時間でした。



# Special Amusement PLANNING

スタッフ募集・委細面談

学校法人コリア国際学園 理事長  
(一社)在日韓国商工会議所 副会長  
東京韓国商工会議所 会長  
栃木県遊技業協同組合 理事長

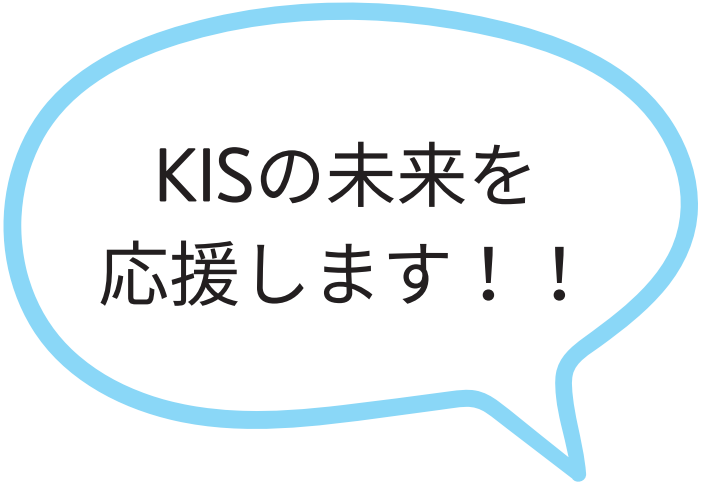
民団中央本部 元副団長  
東京慶尚南道道民会 副会長  
東京ワンコリア  
フェスティバル 事務局長

## 株式会社 エスエープランニング

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-5-12 ヒューリック八重洲通ビル8階  
TEL 03 (6214) 1111 FAX 03 (6214) 1600

代表取締役社長 **金 淳次**





KISの未来を  
応援します！！

株式会社 **ケイ・ジエイ**

代表取締役 **姜太淑**

〒661-0002 兵庫県尼崎市塚口町3丁目36-3



# 東日本遊技機商業協同組合

East Japan Pachinko Association

理事長 中村 昌勇

〒110-0015 東京都台東区東上野3-18-7 上野駅前ビル9F

TEL : 03-3832-5439 URL : <http://www.toyusho.com/>



**KIS 축구부 유학생 OB학부모 일동!**

**《KIS 앞날의 무궁한 발전을 기원합니다.》**





# ホテル アインズイン



## 不動産の有効利用・賃貸・管理

株式会社 総合経営 代表取締役 平田健一(文健一)



株式会社 **ロイヤルアイゼン**  
代表取締役 **金善雄**

〒791-8005 愛媛県松山市東長戸1丁目3-22

TEL・FAX : (089)924-8583

HP:<http://www.ca.picara.ne.jp/royalaizen>



# 株式会社エスト

代表取締役 菅勝

KISの発展を祈ります。



# 株式会社 JYB

代表取締役 大原弘

〒210-0844 神奈川県川崎市川崎区渡田新町2-8-16



# 株式会社 弦輝

代表取締役 柳和明

(一社) 在日韓国商工会議所 愛知 会長

(一社) 在日韓国商工会議所 副会長

社団法人全日本不動産協会会員  
社団法人不動産保証協会会員

宅地建物取引業免許愛知県 (5) 第019643号  
名古屋市南区白雲町174番地  
TEL 052-627-0045 / FAX 052-819-6556



COMFORTABLE FINE WEAR  
UNIFORM FASHION **UNI-GEN**

有限会社 ユニゲン

代表取締役 GENMOTO AKIYOSHI  
巖本 明芳

〒518-0441 三重県名張市夏見202番地8  
TEL : 0595-44-6157 FAX : 0595-44-6158

E-mail : info@uni-gen.sakura.ne.jp  
HP : http://uni-gen.sakura.ne.jp



株式会社 三寶テクノ

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-16-214

TEL : 06-6151-2679 FAX : 06-6151-2479

WEB : http://sp-techno.com E-Mail : info@sp-techno.com



一心法律事務所



弁護士 林範夫 (イムボンブ)



『一心』の名前は、韓国語の(心を合わせて)という単語に由来しており、事務所スタッフ全員が皆様と心をついに合わせて、誠実かつ、良質なリーガルサービスを提供したいという思いを込めて命名しました。

〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目6-4 SNビル202号

TEL : 06-6363-1004 FAX : 06-6363-1014



FCグッフルサッカークラブ  
覚野監督

コリア国際学園の発展を祈ります。

“U-15サッカー選手募集中”

# 京都芸術大学の キャンパス見学ある?



見どころ満載のキャンパスをぐるりと動画でご案内します。



## 京都芸術大学で学べる10の学科

美術工芸学科 / キャラクターデザイン学科 / 情報デザイン学科 / プロダクトデザイン学科 / 空間演出デザイン学科  
環境デザイン学科 / 映画学科 / 舞台芸術学科 / 文芸表現学科 / こども芸術学科

## 社会とつながる芸大



学校法人 瓜生山学園  
京都芸術大学

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

TEL 0120-591-200

<https://www.kyoto-art.ac.jp>





次の30年に向けて

「わたしたちらしさ」は変わらないものに。

ただ変えることを恐れず、さまざまな人の声を、

社会の思いを形にしていく。 アズマ会計事務所 税理士東龍次

**AZUMA** CONSULTING GROUP



# **(特)コリア教育支援ネットワークは コリア国際学園を応援します!!**

未来へ羽ばたく在日コリアンの子供たちに  
夢と希望を与える教育事業を応援しています

---

特定非営利活動法人 コリア教育支援ネットワーク

理事長 李 康 烈

〒712-8046 岡山県倉敷市福田町古新田 804-3

TEL/FAX 086-456-8568



*supporter*

月額 1000 円から

コリア国際学園 (KIS) を支えていただける  
マンスリーサポーターを募集しています。

コリア国際学園 (KIS) は保護者の方々にご負担いただいている学費と、  
たくさんの支援者からの寄付で運営されています。  
今後も、コリア国際学園 (KIS) を支えてくださるマンスリーサポーターを広く募集しております。  
頂いた寄付金は学校施設費、教育機器設備など、学校運営のために活用させていただきます。  
卒業生・保護者・関係者の皆様をはじめ広い社会各層からのご支援を何卒よろしくお願いいたします。

マンスリーサポーターは毎月一定の金額を定期的に寄付していただくことで  
コリア国際学園を支えていただく制度です。

月額 1,000 円から申し込みが可能です。

<https://congrant.com/project/kis/2213>

詳しくはこちらのQRコードから



越境人 第 21 号  
2023 年 9 月発行  
発行 学校法人コリア国際学園

〒 567-0057 大阪府茨木市豊川 2 丁目 13 番 35 号  
TEL: 072-643-4200 FAX: 072-643-4401  
HP: <http://www.kiskorea.ed.jp>  
E-mail: [contact-school@kiskorea.ed.jp](mailto:contact-school@kiskorea.ed.jp)  
※本誌記事が無断で転載する事を禁じます。